

1 はじめに

本校は、明治 24(1891)年の私立愛媛県高等女学校の開校を起源とし、明治 34(1901)年に県立移管により愛媛県立松山高等女学校として明治から昭和初期まで「県女・松山高女」として愛媛県の女子教育の中心を担ってきました。戦後の学制改革により愛媛県立松山南高等学校(男女共学)となり、その歩みを重ね、今年度、創立 130 周年の節目の年を迎えました。



生徒考案の創立 130 周年の記念テーマ「継承 そして新たな飛躍へ」とシンボルマーク(右図)を記念事業の中心とし、先輩方が築いた伝統を継承しつつ、新しいことに挑戦し飛躍していく新たなスタートが切れるように、事業を行ってまいります。



2 本校の概要

現在、本校全日制には普通科(学年定員 320 名)・理数科(同 40 名)が設置されており、本年度は 1071 名の生徒が、校訓「自らを律せよ」、重点努力目標「志高く 心を耕し 言葉を磨け」のもと、「高いレベルの文武両道」をモットーに、一人一人が自らの目標実現のために充実した高校生活を送っています。

毎年数多くの生徒が国公立大学への現役合格を果たす一方、部活動にも熱心に取り組み、「限られた時間、限られた場所」で工夫した取組を行い、ダンス部の県総体 8 連覇を筆頭に、登山部男女・弓道部・総合活動部(空手)のインターハイ出場、放送部・美術部・化学部の全国高等学校総合文化祭出場、吹奏楽部・コーラス部がそれぞれの統括団体主催の四国支部大会に出場など、多くの部活動が、全国大会、四国大会に出場しています。



また、本校は文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)

に、5 期 20 年連続して指定を受け、研究実践に取り組んでいます。現在、全国の SSH 校は 218 校ありますが、そのリーディング校としての先導的改革型の指定は、全国で本校と京都の立命館高校の 2 校だけです。

今期は「新しい価値を創生する国際競争力を持った科学技術人材育成—Society5.0 の実現に向けた STEAM 教育—」とし、産学連携型課題研究(データサイエンス)によるデータ利活用人材(Generalist)の育成、大学接続型課題研究(グローバルサイエンスキャンパスとの連携)によるハイレベル科学技術人材(Specialist)の育成、さらに課題研究指導のためのネットワーク構築を通して地域の理数教育のレベルアップ(Leadership)を図るため、全校体制で日々の実践に取り組んでいます。

3 SSH事業を核にした特色ある取組

(1) 全校生徒が行う課題研究

本校では、普通科全員対象の学校設定科目「データサイエンス」及び理数科全員対象の学校設定科目「スーパーサイエンス」で全校体制による課題研究を実施しています。

令和2年度からはTeams、Office365、OneDriveを活用し、生徒が学校外でも論文、ポスター、プレゼンテーションの作成ができるシステムを構築しました。また、令和3年度からは一人一台端末を活用し、普通科では学年8クラスを同時開講で行い、質の高い研究を進めることができます。

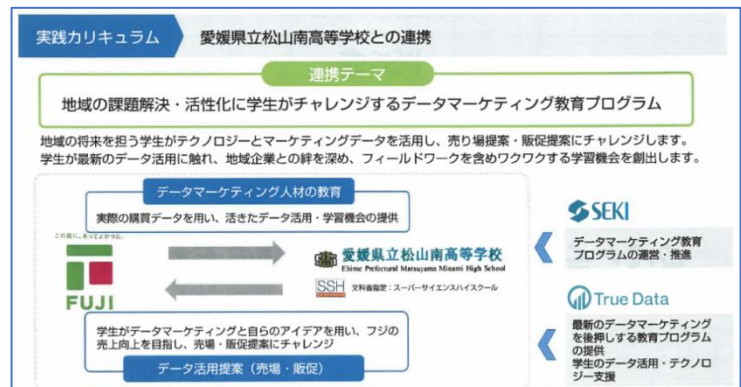
このような取組で、Teamsで教員から論文等の指導助言が得られるようになり、多くの科学系コンテストで受賞するようになりました。令和2年度は、42件受賞し、このうち12件は全国レベルの入賞でした。令和3年度においても、国際統計ポスターコンペティション日本予選で、本校生徒が優勝して日本代表となり、世界大会に出場したりするなど、大きな成果を収めています。

(2) 3企業と連携したデータマーケティングプログラム教育

松山南高校と、株式会社フジ、セキ株式会社、データマーケティングの株式会社 True Data の3企業は、連携して7か月間に渡るデータマーケティングプログラム教育を実施しており、この取組でデータマーケティングの「Specialist」を育成します。

プログラムの内容は、本校生徒が、最先端のテクノロジーとビッグデータを活用して、株式会社フジの売場や販促施策を企画・提案し、その効果検証を行います。販促提案やプログラムの運営・推進支援をセキ株式会社が、データ分析環境の整備とデータマーケティング支援を株式会社 True Data（ビッグデータホルダー企業）が担当しています。

本プログラムを通じて高校と地域企業の連携を深め、地域における学習や人材育成の機会創出を図るとともに、将来の地域経済の活性化にも貢献していきます。



(3) ハワイ大学等と連携した国際性育成

令和2年度からハワイ大学やハワイのマリーノル高校と連携し、STEAM教育（Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics等の各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育）として、宇宙開発に必要な技術等に関する講義やロボティクスに関する国際共同研究を行っています。また、ハワイ大学の11名の先生方に本校生徒が、課題研究を英語プレゼンテーションで発表し、貴重な指導助言もいただきました。



4 本校の教科指導・進路指導

令和2年度の現役国公立大学合格者数は279名、現役難関国公立大学合格者数は20名で全国4位の現役国公立大学進学率となり、マニフェストを達成しました。

これらの成果は、本校の充実した教科指導や進路指導によるものと考えます。本校がSSH校として、「主体的・対話的で深い学び」や「教科横断型授業」など、文部科学省が示す新しい学びに早期から全校体制で取り組み、生徒の思考力・判断力・表現力を育成していることも成果につながっていると考えます。

また、本校は、年間を通じて、様々な領域の大学の先生に講義をしていただく「南高教養アップ講座」が



行われており、生徒が多くくの学問分野に知的好奇心を持ち、教養を深め、自らのキャリアデザインを描くことができるようにしていることも大きく貢献していると考えます。

令和3年度・4年度進路指導研究指定校に愛媛県教育委員会から指定を受け、「人とつながる・世界とつながる・未来とつながる」をテーマに研究・実践を行っています。令和3年度からは、一人一台端末、デジタル問題集、電子黒板等の導入で「個別最適な学び」、「協働的な学び」にも取り組んでおり、今後の南高生のますますの成長が期待されます。

5 おわりに

本年度130周年の節目を迎えた松山南高校は、伝統を継承しつつも、SSH事業を核に、国内外の大学や企業等と連携し、時代を少し先取りした新しいことに挑戦しています。

次の節目の年に向けて、「継承 そして新たな飛躍へ」が実現できるように、これからも生徒・教職員が一丸となり、地域をリードする学校となるよう努力してまいります。